

ローマ・カトリック教会 3



HOLY FATHER

ROMAN CURIA

NEWS SERVICES

VATICAN CITY STATE

[Francis](#)

[Benedict XVI](#)

[John Paul II](#)

[John Paul I](#)

[Paul VI](#)

[John XXIII](#)

[Pius XII](#)

[Pius XI](#)

[Benedict XV](#)

[Pius X](#)

[Leo XIII](#)

THE HOLY FATHER

The Roman Pontiff, as the successor of Peter, is the perpetual and visible principle and foundation of unity of both the bishops and of the faithful.

LUMEN GENTIUM, 23

聖なる父

ローマ教皇は、ペテロの継承者として、永久の、かつ目に見える、司教と信者両方の一致の原理であり土台である。

教会憲章、23

http://www.vatican.va/holy_father/index.htm

聖書と伝承

カトリック教義のガイド序:「私達、カトリック教徒にとって、聖書がキリストの教育の唯一のソースではなく、私達は二重の規則すなわち「聖書」と「伝統」とを信頼し持っている。伝統は、明らかにされた教義の集合体であり、神聖な聖書の中には、記されていないが、しかし合法的な教会の監督たちを通して伝承されたものである。

ローマカトリック教会のカテキズム:97「聖伝と聖書とは、神のことばの一つの聖なる委託物を形づくっています」66。

328 物質的ではない、聖書によって通常天使と呼ばれている霊的存在者がいるということは、信仰の真理です。その点、聖書の教えと聖伝とは一致しています。

聖書:「パリサイ人と律法学者たちは、イエスに尋ねた。「なぜ、あなたの弟子たちは、昔の人たちの言い伝えに従って歩まないで、汚れた手でパンを食べるのですか。」イエスは彼らに言われた。「イザヤはあなたがた偽善者について預言をして、こう書いているが、まさにそのとおりです。『この民は、

口先ではわたしを敬うが、その心は、わたしから遠く離れている。彼らが、わたしを拝んでも、むだなことである。人間の教えを、教えとして教えるだけだから。』あなたがたは、神の戒めを捨てて、人間の言い伝えを堅く守っている。」 また言われた。「あなたがたは、**自分たちの言い伝え**を守るために、よくも神の戒めをないがしろにしたものです。」(マルコ 7:5-9)

救い

ローマ・カトリック教会:「イエス・キリストは、ご自分の死と復活によって、天国を私達に『開かれた』と教えます。」(1994年〈1992年のことだと思います〉のカトリック教徒教義要覧から) 各人は恵みと善い業によって自分自身の救済を得ます。(1477)

聖書:「あなたがたは、**恵のゆえに、信仰によって救われた**のです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。**行ないによるものではありません**。だれも誇ることをないためです。」(エペソ 2:8, 9)

「神は、**私たちが行なった義のわざによってではなく**、ご自分のあわれみのゆえに、聖霊による、新生と更新との洗いをもって私達を救ってくださいました。」(テトス 3:5)

救い主

ローマカトリック教会:マリヤが罪の無い共同贖い主である、と教えます。「彼女を束縛する1度の罪もなく、彼女は完全に彼女の息子と彼の仕事に没頭しました。」「イエスと共に贖いの神秘に仕えるために、マリヤは従順に仕えたので、彼女は自身のため、そして人類全体のための救済の原因になりました」(494)

(少なくとも2010年以降)毎年バチカン・イースター・ビジル・ミサにて:「**ルシファー**の炎が夜明けをつげ、私は言います、**ルシファー**、決して打ち負かされることのない方、**キリストはあなたの子**、地獄から帰ってきた方、が彼の平安の光を照らした。そして生きていて、終わりのない世で支配する。」
<http://mitsukoitoviolinrecital.web.fc2.com/romancatholicchurchpart1.pdf>

聖書:「皆さんも、またイスラエルのすべての人々も、よく知ってください。この人が直って、あなたがたの前に立っているのは、あなたがたが十字架につけ、神が死者の中からよみがえらせたナザレ人**イエス・キリスト**の御名によるのです。『あなたがた家を建てる者たちに捨てられてた石が、礎の石となった。』というのはこの方のことです。**この方以外には、だれによっても救いはありません。世界中でこの御名のほかに、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていない**からです。」(使徒 4:10-12)

「しかし、**キリスト**は永遠に存在されるのであって、変わることはない祭司の務めを持っておられます。したがって、**ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことができになります**。キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです。」(ヘブル 7:24, 25)

「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに、世を愛された。それは**御子を信じる者が**、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ 3:16)

とりなし (仲介者)

ローマカトリック教会: マリヤが「彼女の救済事業を中断しなかったこと」を教えます。「けれども、彼女の多くの執り成しによって、永遠の救済の贈り物を私達に送り届けて持って来続けます」。「彼女は弁護者であり…かつ女性仲介者です」(969)

聖書: 「神は唯一です。また、**神と人との間の仲介者も唯一**であって、それは**人としてのキリスト・イエス**です。」(テモテ I 2:5)

「しかし、キリストは永遠に存在されるのであって、変わることはない祭司の務めを持っておられます。したがって、ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことができになります。**キリスト**はいつも生きていて、彼らのために、**とりなし**をしておられるからです。」(ヘブル 7:24, 25)

教会の頭

ローマカトリック教会: 「法王がキリストの代理者として、そして全体の教会の牧師として、彼の事業のため、教会全体の上に、完全に、最高の全世界的なパワーを持っていることを教え、彼が妨害されず、いつも執行することができる能力について教えます」(882)。「彼が最終的な行為によって信仰またはモラルについての教義を宣言する時、彼は、無謬です」(891)

聖書: 「神は、その全能の力をキリストのうちに働かせて、キリストを死者の中からよみがえらせ、天上においてご自分の右の座に着かせて、すべての支配、権威、権力、主権の上に、また、今の世ばかりでなく、次に来る世においてもとなえられる、すべての名の上に高く置かれました。また、神は、いっさいのものをキリストの足の下に従わせ、いっさいのものの上に立つ**かしら**である**キリスト**を、教会にお与えになりました。」(エペソ 1:20-22)

罪の贖い

ローマカトリック教会: 煉獄において罪が「浄化火」とそれを通じて償われることを教えます。私達は「猶予として罪のこの地上における処罰を受け入れるために努力しなければなりません」(1030, 31; 1472-75)。

十字架の上のイエスの業が終わっていることを否定します。「キリストの犠牲および聖餐の犠牲は、一つの単一の犠牲…その同じキリストが、十字架の祭壇の血まみれの方法でご自身を1回提供したキリストは、聖餐の中に血に染まっていない方法で含まれていて、捧げられます」(1367)。「この神秘が祝われるたびに、私達の贖いの仕事は続けられます」(1405)。この犠牲は、生きている者と死者

(1414)の罪のために償のために捧げられます。ローマカトリック教において、イエスは永遠の犠牲として十字架の上で繰り返しくり返し死ぬのです。

聖書:「イエスは、酸いぶどう酒を受けられると、「**完了した**」と言われた。そして、頭をたれて、霊をお渡しになった。」(ヨハネ 19:30)

「ほかの大祭司たちとは違い、キリストには、まず自分の罪のために、その次に、民の罪のために毎日いけにえをささげる必要はありません。というのは、キリストは自分自身をささげ、**ただ一度でこのことを成し遂げられた**からです。」(ヘブル 7:27)

救われるための唯一の道

ローマカトリック教会:「カトリック教会が救済に必要である」(846)と主張します。

聖書:「**イエス**は彼に言われた。「**わたしが**道であり、真理であり、いのちなのです。**私を通してでなければ**、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」(ヨハネ 14:6)

「この方(**イエス**)以外には、だれによっても救いはありません。**世界中でこの御名のほかには、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていない**からです。」(使徒 4:12)

罪のきよめ

ローマカトリック教会:「すべて、神の恵みと交わりの中で死んだ人々は、まだ聖めが不完全であるから、天国の喜びに入るために必要なきよさを達成できるように、浄化を受ける」(1030)と教えます。

聖書:「御子は神の栄光の輝き、また神の本質の完全な現れであり、その力あるみことばによって万物を保っておられます。また、**罪のきよめを成し遂げて**、すぐれて高い所の大能者の右の座に着かれました。」(ヘブル 1:3)

信仰による救い

ローマカトリック教会: 以下を含む救済のための追加の要件を要求することによって、違う福音を説きます: サクラメント(1129)、賞賛に値するミサ(1405)、教会籍(メンバーシップ)(846)、煉獄(1030)、免罪(1498)、および洗礼(1256)。

聖書:「そして、ふたりを外に連れ出して、「先生がた。救われるためには、何をしなければなりませんか」と言った。ふたりは、「**主イエスを信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの家族も救われます。**」と行った。」(使徒 16:30, 31)

「なぜなら、もし**あなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえ**

らせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。聖書はこう言っています。「**彼に信頼する者は、失望させられることがない。**」(ローマ 10:9-11)

義と認められる

ローマカトリック教会: 価なし、行いなしの義認の恵みは不当であるとし、否定します。「私達は、永遠の命を達成するために必要であるすべての恵みのために自分のため、そして他の人のために功績(行い)を積むことができます」(2027)。

聖書:「ただ、**神の恵み**により、**キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められる**のです。」(ローマ 3:24)

「もし**恵み**によるのであれば、もはや**行ないによるものではありません**。もしそうでなかったら、恵みが恵みでなくなります。」(ローマ 11:6)

カトリック教義への注釈はカトリック教会の公式な教義要覧と第Ⅱバチカン公会議のオースティンフ
ラナリー版を参照しています (以上はこちらのサイトから)

<http://www.geocities.co.jp/Outdoors-River/7540/b8.html>

カトリック教会のカテキズム

<http://www.geocities.co.jp/Bookend-Yasunari/9231/doctrine/cate.html>

冒涇

聖書:「ユダヤ人たちはイエスに答えた。「良いわざのためにあなたを石打ちにするのではありません。冒涇のためです。あなたは**人間でありながら、自分を神とする**からです。」(ヨハネ 10:33)

「ところが、律法学者、パリサイ人たちは、理屈を言い始めた。「神をけがすことを言うこの人は、いったい何者だ。**神のほかに、だれが罪を許すことができよう。**」(ルカ 5:21)

Pope Boniface VIII said, “We declare, assert, define and pronounce to be subject to the Roman Pontiff is to every creature altogether necessary for salvation… I have the authority of the King of Kings. I am all in all, and above all, so that God Himself and I, the Vicar of Christ, have but one consistory, and I am able to do almost all that God can do. What therefore, can you make of me but God?” — Papal Bull Unam Sanctam A.D. 1302

教皇ボンファティウス8世は言った。「私たちは宣言、断言、定義し宣告する。ローマ教皇に従属することはすべての創造物にとって救いに必要であることを…私は「王の王」の権力を持っている。神ご自身と私すなわち「キリストの代理」が、ただひとつの枢機卿会議を持つので私は全てにおいて全てであり、また全ての上におり、そして私には神が出来ることのほぼ全てを行うことが出来る。従って、

私を神以外のなんだと思うのか？」 — 教皇勅書ウナム・サンクタム 1302年著（ローマ教皇ボンファティウス8世が1302年に示した教皇勅書）

Pope Pius V blasphemed, “The Pope and God are the same, so he has all power in Heaven and earth.” — quoted in Barclay, Cities Petrus Bertanous Chapter XXVII: 218

教皇ピウス5世は冒瀆した。「教皇と神は同じである。それゆえ彼は天と地の全ての権力を持っている。」 — バークレーで引用、Cities Petrus Bertanous 第 XXVII 章218節）

Pope Leo XIII declared, “We hold upon this earth the place of God Almighty.” — Pope Leo XIII Encyclical Letter, June 20, 1894

教皇レオ13世は宣言した。「われわれは地上で全能の神の地位を持っている。」 — ローマ教皇レオ13世 回勅、1894年6月20日）

Pope Pius IX said, “I alone... am the successor of the apostles, the vicar of Jesus Christ. I am the way, the truth, and the life...” — Pope Pius IX , History of the Christian Church, by Henry Charles Sheldon, p. 59.

教皇ピウス9世は言った。「唯一私のみが...使徒の継承者であり、キリストの代理者である。私が道であり、真理であり、命である...。」 — 教皇ピウス9世、キリスト教会の歴史、ヘンリー チャールズ著、59ページ）

Pope Pius X declared, “The Pope is not simply the representative of Jesus Christ. On the contrary, he is Jesus Christ Himself, under the veil of the flesh. Does the Pope speak? It is Jesus Christ who is speaking, hence, when anyone speaks of the Pope, it is not necessary to examine but to obey.” — Pope Pius X, Evangelical Christendom, Vol. 49, Jan 1. 1895 A.D., p. 15, “the organ of the Evangelical Alliance,” published in London by J. S. Phillips

教皇ピウス10世は宣言した。「教皇はただイエスキリストの代理人であるだけではない。それどころか、彼は肉体のヴェールの下にいるイエスキリスト自身である。教皇は話すのか？それはイエスキリストが話しているのである、それゆえに、誰かが教皇の話しをするとき、調べる必要はなく、ただ従うだけである。」 — 教皇ピウス10世、伝道的全キリスト教国 第49巻、1895年1月1日、15ページ、「福音伝道的同盟組織」ロンドン J.S.フィリップより出版）

“The Pope takes the place of Jesus Christ on earth...by divine right the Pope has supreme and full power in faith, in morals over each and every pastor and his flock. He is the true vicar, the head of the entire church, the father and teacher of all Christians. He is the infallible ruler, the founder of dogmas, the author of and the judge of councils; the universal ruler of truth, the arbiter of the world, the supreme judge of heaven and earth, the judge of all, being judged by no one, God himself on earth.” — Quoted in the New York Catechism

「教皇は地上でイエスキリストの位置を占める...神の権限により教皇は至高のそして完全なる力を信仰、また全ての各牧者と彼の群れの上に働く道徳の中に持っている。彼は真の代理人であり、全ての教会の頭であり、全てのクリスチャンの父であり教師である。彼は絶対に誤りのない支配者であ

り、教理の設立者であり、審議会の創始者兼裁判官である； 普遍的な真理の支配者、世界の裁決者、天と地の至高の裁判官であり、全ての裁判官である、誰にも裁かれることのない、地上での神ご自身である。」 — ニューヨーク・カテキズム(教理指導書)に引用された。

“We confess that the Pope has power of changing Scripture and of adding to it, and taking from it according to his will.” — Roman Catholic Confessions for Protestants Oath, Article XI

「われわれは教皇が、彼の意志に従って聖書を変更したそれに付け加え、またそこから取る権力があることを告白します。」 — プロテスタントの誓いのためのローマ・カトリックの告白、記事11

聖書:「私があなたがたに命じることばに、**つけ加えてはならない、また、減らしてはならない**。私があなたがたに命じる、あなたがたの神、主の命令を、守らなければならない。」(申命記 4:2)

「あなたがたは、私があなたがたに命じるすべてのことを、守り行なわなければならない、**これにつけ加えてはならない、減らしてはならない**。」(申命記 12:32)

「**神のことばにつけ足しをしてはならない**。神が、あなたを責めないように。あなたがまやかし者とされないように。」(箴言 30:6)

「私は、この書の預言のことばを聞くすべての者にあかしする。**もし、これにつけ加える者があれば、神はこの書に書いてある災害をその人に加えられる**。また、この予言の書のことばを少しでも取り除く者があれば、神は、この書に書いてあるいのちの木と聖なる都から、その人の受ける分を取り除かれる。これらのことをあかしする方がこう言われる。「しかり。わたしはすぐに来る。」アーメン。主イエスよ、来てください。」(黙示録 22:18-20)

父

ローマカトリック教会:「聖なる父 — ローマ教皇は、ペテロの継承者として、永久の、かつ目に見える、司教と信者両方の一致の原理であり土台である。」 — 教会憲章、23

聖書:「あなたがたは**地上のだれか**を、われらの父と呼んではいけません。あなたがたの父はただひとり、すなわち天にいます父だけだからです。」 — イエスキリストの言葉 (マタイ23:9)

イエスの母

“The Church... been accustomed to have recourse to that most ready intercessor, her Mother Mary ... For as St. Irenaeus says, she ‘has become the cause of salvation for the whole human race.’” — Pope Paul VI, Christi Matri

「教会は・・・最も用意が出来ているその母マリアに訴えることに慣れている・・・なぜなら聖イレナイオスが言うように、彼女が「全人類の救いの原因となった」からである。」 — 教皇パウロ6世、回勅

Pope Pius XI said, “What will it cost you, oh Mary, to hear our prayer? What will it cost you to save

us? Has not Jesus placed in your hands all the treasures of His grace and mercy? You sit crowned Queen at the right hand of your son: your dominion reaches as far as the heavens and to you are subject the earth and all creatures dwelling thereon. Your dominion reaches even down into the abyss of hell, and you alone, oh Mary, save us from the hands of Satan.” — Pope Pius XI: Quas Primas (On the Feast of Christ the King), Encyclical promulgated on 12-11-1925, #18.

教皇ピウス11世は言った。「ああマリア、私たちの祈りを聞くのに、あなたにかかる負担は何でしょうか？ 私たちを救うのに、あなたにかかる負担は何でしょうか？ イエスはあなたの手で彼の全ての恵みと憐れみの宝物を渡したのではありませんか？ あなたは王冠をかぶった女王としてあなたの息子の右に座しています：あなたの支配は天のかなたに達し、そして全ての地とその地に住む創造物はあなたに従属しています。あなたの支配は地獄の深淵にまで達し、そしてあなただけが、ああマリア、サタンの手から私たちを救って下さいます。」 — 教皇ピウス11世、クアス・プリマス(キリスト王の宴の上に)、1925年11月12日に発布された回勅、第18番

“God has committed to her the treasury of all good things, in order that everyone may know that through her are obtained every hope, every grace, and all salvation. For this is his will, that we obtain everything through Mary.” — Pope Pius IX: Encycl., Ubi primum, February 2, 1849. p. 12, number 12
「神は全ての良いことの宝を彼女に委ねられた、それは全ての人が彼女を通して全ての希望、全ての恵み、そして全ての救いが得られることを知るためである。なぜならこれが、つまり私たちが全てをマリアを通して得ることが彼の御心だからである。」 — 教皇ピウス9世：回勅 ウビ・プリムム、1849年2月2日、12ページ No.12

“O Virgin most holy, none abounds in the knowledge of God except through thee; none, O Mother of God, obtains salvation except through thee, none receives a gift from the throne of mercy except through thee.” — Pope Leo XIII: Encycl., Adiuatricem populi, September 5, 1895 p. 12, no. 13
「ああ最も聖なる処女よ、あなたを通してでなければ誰も神の知識を多く持つことは出来ず、誰も、ああ神の母よ、あなたを通してでなければ救いを得ることが出来ず、あなたを通してでなければ誰も憐れみのみ座から賜物を受け取ることが出来ません。」 — 教皇レオ13世：回勅、アディウトリチェム・ポプリ、1895年9月5日、12ページ、No.13

ローマカトリック教会のカテキズム:411 より 「マリアは原罪のすべての汚れから守られ 307、生涯、神の特別な恵みによって、いかなる罪も犯しませんでした 308。」

聖書:「すべての人は、罪を犯したので、神からの栄誉を受けることができず、ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。」(ローマ 3:23, 24)

聖書:「両親は彼を見て驚き、母は言った。「まあ、あなたはなぜ私たちにこんなことをしたのです。見なさい。父上も私も、心配してあなたを捜し回っていたのです。」するとイエスは両親に言われた。「どうしてわたしをお捜しになったのですか。わたしが必ず自分の父の家にいることを、ご存じなかったのですか。」しかし両親には、イエスの話されたことばの意味がわからなかった。」(ルカ 2:48-50)

「するとイエスは母に言われた。「あなたはわたしとなんの関係があるのでしょうか。女の方。わたしの時はまだ来ていません。」(ヨハネ 2:4)

「イエスがまだ群衆に話しておられるときに、イエスの母と兄弟たちが、イエスに何か話そうとして、外に立っていた。すると、だれかが言った。「ご覧なさい。あなたのおかあさんと兄弟たちが、あなたに話そうとして外に立っています。」しかし、イエスはそう言っている人に答えて言われた。「わたしの母とはだれですか。また、わたしの兄弟たちとはだれですか。」それから、イエスは手を弟子たちのほうに差し伸べて言われた。「見なさい。わたしの母、わたしの兄弟たちです。天におられるわたしの父のみこころを行なう者はだれでも、わたしの兄弟、姉妹、また母なのです。」(マタイ 12:46-50)

「イエスは、母と、そばに立っている愛する弟子とを見て、母に「女の方。そこに、あなたの息子がいます。」と言われた。それからその弟子に「そこに、あなたの母がいます。」と言われた、その時から、この弟子は彼女を自分の家に引き取った。」(ヨハネ 19:26, 27)

カトリック教会を通してでなければ

ローマカトリック教会のカテキズム:85「書きもの、あるいは口伝による神のことばを権威をもって解釈する役目は、キリストの名で権威を行使する教会の生きた教導権だけに任せられています」51。教会の教導権を持っているのはペトロの後継者、ローマ司教と結ばれた司教たちです。

100 神のことばを権威をもって正しく解釈する任務は、教会の教導権、すなわち、教皇と教皇に結ばれた司教にのみゆだねられています。

Pope Innocent III declares, “With our hearts we believe and with our lips we confess but one Church, not that of the heretics, but the Holy Roman Catholic and Apostolic Church, outside which we believe that no one is saved.” — Pope Innocent III, Denzinger 423

教皇インノケンティウス3世は宣言した。「われわれの心でわれわれは信じ、そしてくちびるで一つの教会を告白する。その教会は異教ではなく、聖なるローマ・カトリックでありローマ教皇の教会で、その外では誰一人救われる者はないとわれわれは信じている。」 — 教皇インノケンティウス3世、デンジンガー423

Pope Boniface VIII said, “We declare, assert, define and pronounce to be subject to the Roman Pontiff is to every creature altogether necessary for salvation” — Papal Bull Unam Sanctam A.D. 1302

教皇ボンファティウス8世は言った。「私たちは断言、主張し宣言する。ローマ教皇に従属することはすべての創造物にとって救いに必要であることを」 — 教皇勅書ウナム・サンクタム 1302年著

Pope Pius IX said, “It must be held by faith that outside the Apostolic Roman Church, no one can be saved;” — Pope Pius IX, Denzinger 1647

教皇ピウス9世は言った。「ローマ教皇のローマ教会の外では、誰も救われることが出来ないという信仰によって保持されなければならない。」－教皇ピウス9世、デンジガー1647

聖書:「なぜなら、もし**あなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われる**からです。人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです、聖書はこう言っています。「彼に信頼する者は、失望させられることがない。」(ローマ 10:9-11)

聖書:「この方(イエス)以外には、だれによっても救いはありません。**世界中でこの御名のほかには、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていない**からです。」(使徒 4:12)

以上はこちらのサイトから

<http://christianitybeliefs.org/end-times-deceptions/pope-quotes-verify-they-are-antichrist-son-of-perdition/>

その他の参照サイト

<https://www.worldslastchance.com/end-time-prophecy/appalling-papal-proclamations-straight-from-the-harlots-mouth.html>

十戒

カトリックの十戒

カトリック中央協議会から最近(2010年1月)出版された「カトリック教会のカテキズム要約」を見ると、神の十戒として次のものが挙げられています。これは数十年前からの「公教要理」、「カトリック要理」の内容と同じものです。

- 1、わたしはあなたの主なる神である。わたしのほかに神があってはならない。
- 2、あなたの神、主の名をみだりに唱えてはならない。
- 3、主の日を心にとどめ、これを聖とせよ。
- 4、あなたの父母を敬え。
- 5、殺してはならない。
- 6、姦淫してはならない。
- 7、盗んではならない。
- 8、隣人に関して偽証してはならない。
- 9、隣人の妻を欲してはならない。
- 10、隣人の財産を欲してはならない。

以上はこちらのサイトから

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~okazaki/walk/jikkai.html>

聖書:それから神はこれらのことばを、ことごとく告げて仰せられた。

「わたしは、あなたをエジプトの国、奴隷の家から連れ出した、あなたの神、主である。
あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。

あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、どんな形をも造ってはならない。それらを拝んではならない。それらに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神、わたしを憎む者には、父の替を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、わたしを愛し、わたしの命令を守る者には、恵みを千代にまで施すからである。

あなたは、あなたの神、主の御名を、みだりに唱えてはならない。主は、御名をみだりに唱える者を、罰せずにはおかない。

安息日を覚えて、これを聖なる日とせよ。六日間、働いて、あなたのすべての仕事をしなければならない。しかし七日目は、あなたの神、主の安息である。あなたはどんな仕事もしてはならない。——あなたも、あなたの息子、娘、それにあなたの男奴隷や女奴隷、家畜、また、あなたの町囲みの中にいる在留異国人も——それは主が六日のうちに、天と地と海、またそれらの中にいるすべてのものを造り、七日目に休まれたからである。それゆえ、主は安息日を祝福し、これを聖なるものと宣言された。

あなたの父と母を敬え。あなたの神、主が与えようとしておられる地で、あなたの年齢が長くなるためである。

殺してはならない。

姦淫してはならない。

盗んではならない。

あなたの隣人に対し、偽りの証言をしてはならない。

あなたの隣人の家を欲しがってはならない。すなわち隣人の妻、あるいは、その男奴隷、女奴隷、牛、ろば、すべてあなたの隣人のものを、欲しがってはならない。」(出エジプト記 20:1-17)

偶像

聖書:「墮落して、自分たちのために、どんな形の彫像をも造らないようにしなさい。男の形も女の形も。地上のどんな家畜の形も、空を飛ぶどんな鳥の形も、地をはうどんなものの形も、地の下の水の中にいるどんな魚の形も。」(申命記 4:16-18)

「気をつけて、あなたがたの神、主があなたがたと結ばれた契約を忘れることのないようにしなさい。あなたの神、主の命令にそむいて、どんな形の彫像をも造ることのないようにしなさい。あなたの神、主は焼き尽くす火、ねたむ神だからである。あなたが子を生子、孫を得、あなたがたがその地に永住し、墮落して、何かの形に刻んだ像を造り、あなたの神、主の目の前に悪を行い、御怒りを買うようなことがあれば、私は、きょう、あなたがたに対して、天と地とを証人に立てる。あなたがたは、ヨルダンを渡って、所有しようとしているその土地から、たちまちにして滅びうせる。そこで長く生きるどころか、すっかり根絶やしにされるだろう。」(申命記 4:23-26)

「わたしは、あなたをエジプトの国、奴隷の家から連れ出した、あなたの神、主である。あなたには、わたしのほかに、ほかの神々があってはならない。あなたは、自分のために、偶像を造ってはならない。上の天にあるものでも、下の地にあるものでも、地の下の水の中にあるものでも、どんな形をも造ってはならない。それらを拝んではならない。それらに仕えてはならない。あなたの神、主であるわたしは、ねたむ神、わたしを憎む者には、父の咎を子に報い、三代、四代にまで及ぼし、わたしを愛し、わたしの命令を守る者には、恵みを千代にまで施すからである。」(申命記 5:7-10)

最後に

ローマカトリック教会のカテキズム:90 各教義の相互関連と一貫性は、キリストの神秘の啓示全体の中に見いだすことができます 55。「カトリック教義の諸真理とキリスト教信仰の基礎との関係は種々異なっているものですから、それらの諸真理の間に秩序、すなわち、『順位』が存在します」56。

聖書:「しかし、私たちであろうと、天の御使いであろうと、もし**私達が宣べ伝えた福音に反することを**あなたがたに宣べ伝えるなら、その者はのろわれるべきです。私たちが前に言ったように、今もう一度私は言います。もしだれかが、**あなたがたの受けた福音に反することを**、あなたがたに宣べ伝えているなら、その者はのろわれるべきです。」(ガラテア人への手紙 1:8, 9)

「こういう者たちは、にせ使徒であり、人を欺く働き人であって、キリストの使徒に変装しているのです。しかし、驚くには及びません。**サタンさえ光の御使いに変装するのです**。ですから、**サタンの手下どもが義のしもべに変装したとしても**、格別なことはありません。彼らの最後はそのしわざにふさわしいものとなります。」(コリントⅡ 11:13-15)

「それから、私は、天からのもう一つの声がこう言うのを聞いた。「**わが民よ。この女から離れなさい**。その罪にあずからないため、また、その災害を受けないためです。なぜなら、彼女の罪は積み重なって天にまで届き、神は彼女の不正を覚えておられるからです。」(黙示録 18:4-5)

「神は、そのような無知の時代を見過ごしておら

れましたが、今は、どこでもすべての人に
悔い改めを命じておられます。」（使徒 17:30）

「その永遠のいのちとは、彼らが唯一まことの
神であるあなたと、あなたの遣わされたイエ
ス・キリストとを知ることです。」 — イエス・
キリストの言葉（ヨハネ 17:3）

「そして、ふたりを外に連れ出して、『先生
がた。救われるためには、何をしなければなり
ませんか』と言った。ふたりは、『主イエスを
信じなさい。そうすれば、あなたもあなたの
家族も救われます。』と言った。」

（使徒 16:30, 31）

◆ローマ・カトリック教会のミサで行われていること（ローマ・カトリック教会1） ↓

<http://mitsukoitoviolinrecital.web.fc2.com/romancatholicchurchpart1.pdf>

◆ローマ・カトリック教会 バチカン サンピエトロ大聖堂の地下（ローマ・カトリック教会2） ↓

<http://mitsukoitoviolinrecital.web.fc2.com/romancatholicchurchpart2.pdf>

◆キリスト教会に潜入したオカルトシンボル 1（讚美歌 CD ジャケット）

<http://mitsukoitoviolinrecital.web.fc2.com/satanicinfiltrationinthechristianchurchpart1.pdf>

◆キリスト教会に潜入したオカルトシンボル 2 (ハンドサイン)

<http://mitsukoitoviolinrecital.web.fc2.com/satanicinfiltrationinthechristianchurcshpart2.pdf>